

B-3. 「でっかい」「おいしい」「うわぁ!きれい」(豆で楽しむ) 品川区立南大井保育園(東京都品川区)

日常的に楽しんでいる「豆移し」の遊びを出発点に展開した活動の中で、子どもたちが気付いたり考えたりして「自然・もの・人」にかかわることで、感覚教育・食育・環境教育・自然教育に結びつく実践になり、「科学する心」が育まれる姿を捉えることができた。

手先の遊び
(遊びに取り入れる)
豆移し



花豆、でっかい

食育
(生活に結びつく)
豆を食べる

製作をする(創造・表現)
染め物をする



栽培
(自然にかかわる)
豆を育てる

一人で豆移し遊び(豆を箸で挟んで違う器に移す遊び)をする姿が目立った。

- ①保育者が「競争しよう」と提案したことで、豆移し競争が展開した。興味をもった幼児に広がり3~5歳児まで楽しむ姿が見られる。自分なりに速い方法を考える。
- ②大豆・小豆・虎豆・黒豆・むくろじの5種類の豆や木の実に、花豆・白いんげん・金時豆・浸し豆を加え、豆により大きさ、色や形が違うことや、同じ数でも花豆は量が多く器いっぱいになることなど、豆の特徴に気付きながら遊ぶ。
- ③「小豆はあんこになる」「大豆は何になる?」「納豆ご飯」「きな粉ご飯」「豆腐は大豆でできる」などと、豆について身近な食べ物の話も展開する。

遊びの中で話題になったので、煮豆にして食べる。

- ①大きさや色の変化、やわらかさなど比較しながら、味わって食べる。
- ②煮汁にも色が付いていることに気付き、カレーやブドウなど色が付く汁について話題になり、「染まる」ということに関心が向く。

「染めてみたい」という思いから、染められそうな食べ物を出し合って話し合い、ブドウの皮・赤しそ・玉ねぎの皮で染めることにする。

- ①煮豆の経験から、「きれいな黄色」「どうして茶色じゃないの?」「スープの臭い」「ワインの味」「すっぱい」「おいしい」など、煮汁の味や色の変化に興味をもって見たり、気付いたこと考えたことを話したりする。
- ②染める布を入れる温度、媒染する温度など、染める工程とともに「温度」にも関心をもち温度が「風でさめる」など下がったり「火にかけて」上がったりすることに興味をもって気付いたり感じたりしたことを話す。
- ③染めた色を楽しみながら、さらしを編んで、自分の縄跳びをつくる。

栽培していた枝豆が「大豆」と同じということに気付く。

- ①絵本コーナーで豆に関する本を見ることが多くなる。図鑑で調べる姿もある。
- ②大豆の苗のことが分かり、庭の枝豆と同じことに気付く。3、4歳児も加わって枝豆のプランターを囲い、5歳児が「葉っぱの形は?」「同じだ」「実の形は?」「同じだよ」「じゃあこれは大豆ってことだね」「でもこの前は枝豆だった」「枝豆と大豆って同じなんだ」「豆を土に植えたら豆ができる」など考え、栽培物と豆が結びつく。
- ③豆を植え、芽が出ることを楽しむ。豆によって芽や育ちの違いに気付く。

ポイント

手先を使って遊ぶ経験ができる場として設定され、日常的に一人ひとりが個々に取り組む遊びになっていた「豆移し」の遊びに着目し、子どもたちの興味や思いに添って展開されました。「上手く速く豆を移すにはどうしたらいいか考える」「豆にはいろいろな種類がある。大きさや形、色など違いに気付く」「豆がどんな食べ物になっているか考えたり、煮豆にして煮汁や味などの変化や違いに気付いたりする」「染まるだろうという予想をして染め物をし、色の変化に興味をもったり疑問をもって考えたりする」など、『科学する心』が育まれます。さらに、目の前の豆やその変化に興味をもち繰り返しかかわったことで、豆を「自分たちで育てる」という思いをもつことに結びつきました。